



こんにちは なす和也で

なす和也活動レポート113

日本共産党直方市委員会が見解を發表しましたので紹介します。

2025年8月7日 直方市溝堀3丁目3-32

電話 (22) 5011・FAX (22) 3810

携帯090-4357-8756 (那須和也)

日本共産党

「直方市役所1F (こもれびテラス)」にて原爆写真展が開催されています (8月4日 (月) ~29日 (金))



1958年より、核兵器廃絶と非核平和の日本を求めて原水爆禁止国民平和大行進が毎年とりくまれています。

被爆80年を迎える今年2025年原水爆禁止国民平和大行進が北は北海道、南は沖縄から、すべての都道府県を網羅し8月の被爆地 広島・長崎をめざして歩みをすすめています。

1945年8月、広島・長崎に投下された原子爆弾により、一瞬にして両市は壊滅し、その年の暮れに合わせて21万人を超える市民の命が奪われました。かろうじて生き残った被爆者は、放射線による後遺障害などに苦しみながらも

「こんな思いを他に誰にもさせてはならない」と核兵器の非人道性とその廃絶を世界に訴えてきました。

その活動が評価され、昨年12月には日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)がノーベル平和賞を受賞しました。この受賞は核保有国を含む国際社会全体に「核兵器の使用は許されない」というメッセージを改めて示しました。

いま東アジアには、朝鮮半島、南シナ海、台湾海峡など、緊張の火種があります。現在の特に朝鮮半島をめぐる



軍事的緊張、北東アジアの問題を解決するためにも、軍事対軍事、核対核ではなく、外交と対話の方向に転換することが不可欠です。

7月22日に直鞍原水協(共産党議員団も同席)で直方市長へ懇談を行い、「支持・賛同ペナント」への署名と写真パネル、広島の高校生が作成した「原爆の絵」などの展示を要請しました。